

≫≫ 報告

文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・
研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2020年度成果発表会(オンライン)

2021年2月19日 発表者：武藤祥子

立命館大学アート・リサーチセンター(以下ARC)は、1998年に文理融合による文化・芸術の研究拠点として立命館大学衣笠キャンパス内に設立された研究機関である。ARCは、2014年より文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されたことを受けて、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとする共同研究を推進している。2019年10月には、文部科学省の国際共同利用・共同研究拠点の認定を受け、[日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点](#)として活動を開始し、より広く国内外より研究プロジェクトを公募し、海外の著名美術館・博物館を含む日本文化研究拠点との人的ネットワークを活用しながら、デジタル・ヒューマニティーズ分野の“世界水準の研究拠点形成”を目指している。当館は、個別テーマ設定型の共同研究プロジェクトに2014年度より採択され、今年度も「演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究」という研究課題で、引き続き活動を行っている。この国際共同研究拠点の[2020年度成果発表会](#)が、2021年2月19日(金)から20日(土)にかけ、今回初めてオンラインにより行われ、当館は19日に、成果報告を行った。

当館が行っている研究は、当館が管理している演劇上演記録のデータのうち、過去の記録のデータをより精緻な内容にすると共に、資料アーカイブのメタデータとして活用していく活動のことである。当館では1958年の開館以来、演劇資料の整理の基礎となる「上演情報」つまり「何の演目か、何年何月、どこの劇場で上演されたか」という情報を管理するため、主に明治初年から戦前までの東京の記録と、戦後の各地の大劇場、そして東京の小劇場の公演の記録を「演劇上演記録」として蓄積してきた。本研究では、この基本データの不完全な情報について、劇場プログラムなどの資料を典拠に、考証を進めて追加していくことでデータの精度を上げ、演劇に関する研究や資料整理の基礎となる上演記録データベースを構築し、さらにそのデータを他のデータベースの構築に活用することを目的としている。今期はジャンル別の考証作業として、2015年度から継続して進めている各劇場で催された舞踊会のプログラムを網羅的に入力する作業を行い、2004年までの入力を完了する事ができた。

続いて、画像検索閲覧システムの構築についての成果であるが、今期は「川上音二郎貞奴訪欧公演アルバム」を閲覧する事が出来る、[特別資料閲覧システム](#)(「川上音二郎貞奴欧米公演関係資料アルバム」)を公開する事が出来た。川上音二郎貞奴訪欧公演アルバムは、[2018年のクラウドファンディング](#)で得た支援金で修復及びデジタル化を行ったものである。このシステムの公開については[ARCのHP](#)や学会のメーリングリストでもご紹介頂いたが、アーカイブ公開2週間後には、日仏会館主催のジャポニズム学会シンポジウムから資料紹介の依頼の連絡を頂き、今年の1月30日のオンラインシンポジウムで、アーカイブと音二郎貞奴アルバムをご紹介し、内外の研究者へのアピールにつなげた。また、現在公開に向け準備中のデジタル・アーカイブとして、「竹本床本検索閲覧システム(仮称)」「劇場名データベース(仮称)」、歌舞伎俳優のプロマイドや舞台写真などが閲覧できる「演劇古写真データベース(仮称)」をご紹介した。そして来期の予定として、歌舞伎座の戦前の筋書(劇場プログラム)の撮影をARCで進めてもらい、デジタル・アーカイブ化を行う事を報告した。

最後に、当館の資料のデジタル・アーカイブ化について、クラウドファンディングで費用を募集し、ARCに研究としてデジタル化を委託、メタデータの整備を共同ですすめ、ARCに公開及び運用を依頼、という流れで行っている事を説明した。当館には大規模資料館に負けない豊富な所蔵資料があるものの、デジタル化に関する費用・人材・技術の持ち合わせがない。しかし、クラウドファンディングでデジタル化に共感する支援者を得て、立命館の技術でデジタル化を進めて頂く、という形で、これまで複数のデジタル・アーカイブの公開が可能となった。1月には、これまで公開したアーカイブのリンクをまとめたページをHPに作った件を報告して、成果発表を締めくくった。

今回の発表会では、共同研究に採択されている約40のプロジェクトのうち、32のプロジェクトがそれぞれの成果を報告した。多くのプロジェクトが、データを蓄積してアーカイブを構築する所からさらに進んで、複数の個別アーカイブのデータ連携や、データの画像分析を行うなど、一層深い研究を行っていた。いずれ当館も歌舞伎プロマイドのデータと筋書のデータを連携させるなど、さらに進んだアーカイブの構築を目指していきたい。



当館書庫内で発表中の武藤



発表視聴中の当館スタッフ

■■■ ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展関連資料をご紹介します(その2) ■■■



昭和 26[1951]年「芸術祭十一月興行大歌舞伎」のチケットとチケット袋

現在当館閲覧室では、ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展を開催中です。当初は3月24日(水)までの開催でしたが、緊急事態宣言が延長されたため、皆様のご来館が難しい状況を考慮して4月30日(金)まで期間を延長いたしました。また、現在前日までの予約制でご利用頂いているため、展示の観覧につきましてもご不便をおかけしておりますので、ニューズレターでも「歌舞伎座チケット袋」展の関連資料をご紹介します。今回は戦後の資料です。

歌舞伎座は昭和 20[1945]年 5 月 25 日に戦災により焼失しましたが、昭和 26 [1951]年 1 月に再建落成開場し、これ以降第四期歌舞伎座となりました。戦後昭和期のチケット袋は、月ごとにデザインの絵が新しく描かれた時代があり、季節を取り入れた絵柄や演目に関するものなどさまざまな絵柄のものが作られ、長年歌舞伎ファンの目を楽しませてきました。

また、襲名や追善興行のときは、歌舞伎俳優の家紋があしらわれることもあります。右の写真は、左から時計回りに、十一代目市川團十郎、七代目尾上菊五郎、三代目中村鴈治郎(後の四代目坂田藤十郎)の襲名時のチケット袋とチケットです。これらのチケット袋には、丸みを帯びた字体で「あ。」とサインがかかっていますが、このサインは、東京藝術大学名誉教授・荒川明照(あきてる)氏のもので、荒川明照氏は、第四期歌舞伎座の開場間もない頃に劇場ポスターを手がけ、以来長年にわたり筋書の挿絵制作などで歌舞伎座に携わってきました。昭和期以降のチケット袋の多くは荒川氏の筆によるもので、第四期歌舞伎座のさよなら公演(平成 21 [2009]年 1 月-4 月)や、第五期歌舞伎座の開場式(平成 25 [2013]年 3 月 27-28 日)などのときのチケット袋の絵も荒川氏の制作です。今回の展示では荒川氏にご許可いただき、その筆による絵柄のチケット袋を昭和から平成まで 16 点を展示しています。



左より時計回りに:昭和 37[1962]年 4 月「十一代目市川團十郎襲名大興行」、昭和 48[1973]年 11 月「七代目尾上菊五郎襲名披露顔見世大歌舞伎」、平成 2[1990]年 11 月「三代目中村鴈治郎襲名披露顔見世大歌舞伎」のチケット袋とチケット

■「歌舞伎座チケット袋」展■

展示期間: 2021 年 1/12(火)~3/24(水) 4/30(金)まで期間延長 ※3/3~3/16 春期整理休館

展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室

展示をご覧になる場合も、前日までにご予約の上ご来館下さい。※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館の [HP](#)、[Facebook](#) の投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話:03-5550-1694 (平日:10 時~16 時※短縮中)

»»資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2020 年 12 月-2021 年 1 月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、高橋 薔子、東宝株式会社映像事業部、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、愛知芸術文化センター、公益社団法人日本演劇興行協会、御園座演劇図書館、日本劇作家協会、シアタークリエ、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、丸善出版株式会社、キネマ旬報社、日本映画テレビプロデューサー協会、文学座、国立映画アーカイブ、特定非営利活動法人映像産業振興機構、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、演劇出版社、銀座 博品館劇場、齋藤雅文、一般社団法人日本民間放送連盟、帝国劇場、新国立劇場情報センター、若林さだ吉、榎松大剛、協同組合 日本映画撮影監督協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、国立歴史民俗博物館、おとなのデジタル TV ナビ編集部、吉田光範、丹波伸子、(株)近代映画社、劇団銅鑼、劇団昴、株式会社俳優座劇場、株式会社ヴィレッヂ、劇団民藝、株式会社東急文化村、銀座百店会、劇団俳優座、博多座、一般社団法人関西常磐津協会、邦楽の友社、有限会社合同通信社、無声映画鑑賞会、公益財団法人日本近代文学館、人形劇団ブーク、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、公益社団法人日本劇団協議会、東京都江戸東京博物館、山口博哉、谷口純、墨染会、一般社団法人義太夫協会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、明治座、劇団青年座、世田谷文学館、藤本貴司、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、公益社団法人日本照明家協会、岩波ホール、公益社団法人日本演劇協会

どうもありがとうございました

»» 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■ ○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版 ボルノグラファー プレイバック』	○				
『キンキーズ』		○	○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『すばらしき世界』『世界で一番しあわせな食堂』『マーメイド・イン・パリ』『モンテッソーリ 子どもの家』『太陽は動かない』

■ 松竹系2月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『本朝廿四孝 十種香』	○	○	○	○
	『泥棒と若殿』	○	○		
	『於染久松色読販 土手のお六鬼門の喜兵衛』	○	○		
	『神田祭』		○		
	『奥州安達原 袖萩祭文』	○	○		
	『連獅子』	○	○		
新橋演舞場	『喜劇 お染与太郎珍道中』	○		○	○
	『滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie 特別上映』			○	○
松竹座	『大阪松竹座 狂言の会』				
	『早春 松竹お笑い寄席in大阪松竹座』				
南座	『喜劇 お染与太郎珍道中』	○		○	○
博多座	『正札附根元草摺』	○		○	
	『秀山十種の内 松浦の太鼓』	○			
	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』	○			
	『元禄花見踊』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料(12-2月) ■ (順不同)

イキウメ『金輪町コレクション』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/劇団チョコレートケーキ『帰還不能点』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/トム・プロジェクトプロデュース『モンテンルパ』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/ONEORS『グレーのこと』ザ・スズナリプログラム/二兎社『ザ・空気 ver. 3』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/『東京原子核クラブ』本多劇場プログラム/青年団『眠れない夜なんてない』吉祥寺シアタープログラム/城山羊の会『石橋けいのあたしに触らないで』下北沢小劇場 B1 プログラム/EPOCH MAN『夢ぞろぞろ』下北沢シアター711 プログラム/『こちとら大奥様だぜい!』明治座台本/劇団四季『The Bridge 歌の架け橋』JR 東日本四季劇場春プログラム/ASP イッツフォーリーズ『青空の休暇』地方巡業プログラム/劇団民藝『地熱』紀伊國屋サザンシアター-TAKASHIMAYA プログラム、台本

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』Vol. 107/『BEST STAGE』Vol. 22-Vol. 26, Vol. 28, Vol. 30/『Confetti』2021年 MARCH/『JPL』No. 79/『SePT 倶楽部 information』2020年4月号, 6月号-2021年2月号/『act guide [アクトガイド]』2020 Season 7/『omoshii PRESS オモシイ・プレス』Vol. 11/『あぜくら』2021年2月号/『えんぶ』2021年2月号/『げき』22号/『ばら〜た通信』Vol. 21/『ほうおう』2021年4月号/『テアトロ』俳優・タレント養成ガイド2021年度版, 2021年3月号/『ラ・アルプ』2021年3月号/『演劇界』2021年4月号/『喝采』2021年4月, 5月/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol. 35/『国立演芸場公演ガイド』令和3年3月号/『座・高円寺』No. 23, No. 24/『大向う』令和3年3月号/『日本演劇興行協会会報』59号/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年3月号/『日本照明家協会誌』2021年2月号/『日本舞踊』73巻3月号/『文化座』188号, 190号/『邦楽の友』令和3年1月-2月合併号/『名古屋芸能文化』30号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2021年4月号/『SCREEN』2021年4月号/『TVガイド』2021年1/22号, 1/29号, 2/5号, 2/12号, 2/19号, 2/26号, 3/5号/『おとなのデジタルTVナビ』2021年4月号/『エキブ・ド・シネマ』No. 230/『キネマ旬報』2021年3月上旬号, 3月下旬映画業界決算特別号/『シナリオ』2021年4月号/『シナリオ教室』2021年3月号/『ドラマ』2021年3月号/『ピクトアップ』2021年4月号/『ロケーションジャパン』2021年2月号/『映画テレビ技術』2021年3月号/『映画芸術』474号/『映画時報』2021年2月号/『映画秘宝』2021年3月号, 4月号/『日経エンタテインメント!』2021年3月号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■ (順不同)

『あさくさ』『ハワイ 日本人移民の150年と憧れの島のなりたち』『国際交流基金年報2012年度』『鼓童 年間活動報告2012』『鼓童 年間活動報告2015』『竹本義太夫墓石修復資金勸進 合わせて、浄瑠璃界先師墓石修復資金勸進事業 事業報告書』『林家派伝承曲集 三味線文化稽古本』『演劇と演劇性 日仏共同国際シンポジウム』『世田谷パブリックシアター2016年度アニュアルレポート』『国際演劇交流セミナー2015』『国際演劇交流セミナー2016』『国際演劇交流セミナー2017-2018』『セゾン文化財団事業報告書 2009年度』『ITI 世界の秀作短編研究シリーズ イギリス編 英国演劇とフェミニズム』『ITI 世界の秀作短編研究シリーズ フランス編』『現代・中東・演劇 連続講演会』『絵入謡本と能狂言絵』『泉鏡花展 生誕140年記念 ものがたりの水脈』『永井荷風「断腸亭日乗」と「遺品」でたどる365日』『助六由縁江戸櫻屋句會 平成二十五年八月吉日』『歌舞伎 女方の技法』テキスト』『FUJINAMI JAPANESE TRADITIONAL AND CREATIVE WORKSHOP』『ぎふ地歌舞伎衣裳』『スクリーンの向う側』『平成25年度「等持院寺宝展」尾上松之助所縁の鎧の初公開記念』『尾上松之助写真・資料集《野外劇・葬儀行列編》平成25年度「等持院寺宝展」出品記念』『NHK連続放送劇「鐘の鳴る丘」の一過性打破と視覚化 放送脚本刊行・舞台上演・映画を中心として』『木下忠司作品集 海の聲』『木下忠司作品集 そばの花咲く』『日本脚本アーカイブズ調査・研究報告書 [I] 平成17年度』『日本脚本アーカイブズ調査・研究報告書 [VI] 平成22年度』『日本脚本アーカイブズ調査・研究報告書 [VII] 平成23年度 (最終版)』『岩波映画シリーズ作品目録 1969年1月』『シアターワンダーランド いま、最もおもしろい演劇シーンがわかる!』『斉藤郁子 SCOTの軌跡を語る』『鈴木忠志対談集 <私たち>は必要とされるのか?!』

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。
何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和3[2021]年2月にご支援いただきました法人・団体（50音順・敬称略）

- | | |
|--------------|---------------------|
| 株式会社歌舞伎座 | 松竹音楽出版株式会社 |
| 歌舞伎座サービス株式会社 | 松竹芸能株式会社 |
| 歌舞伎座舞台株式会社 | 株式会社松竹サービスネットワーク |
| 有限会社合同通信社 | 松竹ブロードキャスティング株式会社 |
| 松竹株式会社 | 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ |
| 松竹衣裳株式会社 | |
| 株式会社松竹映像センター | |

どうもありがとうございます

● 春期整理休館のお知らせ ●

令和3年3月3日(水)～3月16日(火) 3月17日(水)より開館いたします

■ 松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い ■

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます
《現在のご利用について》

- 開館時間 10:00～16:00(短縮しております)
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日 10時～16時)

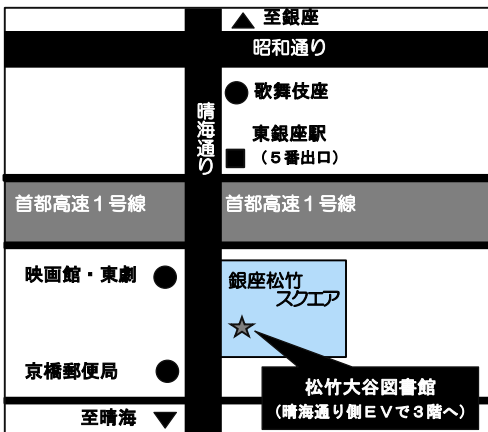
《ご予約について》

- ★ 10時から16時まで、1時間ごとに最大2時間までご予約頂けます。
- ★ ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★ 一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★ 一度利用された資料は同日にはご利用頂けません。先に閲覧予約が入っている場合、使用をお断りする場合があります。
- ★ 展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/210105.html>

今後、開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時お電話でのご確認や、当館の[HP](#)、[Facebook](#)の更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 3 階 / Tel 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

● 利用案内 ●

【開館時間】平日 10:00～16:00(短縮しております) / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内および Web サイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1 枚 白黒 50 円、カラー 150 円・B4 1 枚 白黒 100 円、カラー 300 円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

● 資料検索 ●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅 5 番出口より徒歩 3 分
東京メトロ有楽町線 新富町駅 1 番出口より徒歩 8 分

